

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2019-117980 (P2019-117980A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2017-250169 (P2017-250169)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

H 0 4 W 64/00 (2009.01)

H 0 4 M 1/73 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 1

H 0 4 W 52/02 1 1 0

H 0 4 W 64/00 1 7 1

H 0 4 M 1/73

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 17 日 (2020.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信モジュールと、前記通信モジュールの通信を制御するコントローラとを備え、

前記コントローラは、自機の位置に関する情報を取得し、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記通信モジュールに通信の省電力モード (P S M) を開始させ

、
前記コントローラは、前記自機の位置に関する情報を取得し、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに前記 P S M を開始させ、

前記通信モジュールは、P S M 期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止し、

前記コントローラは、前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記 P S M を終了する

通信装置。

【請求項 2】

通信モジュールと、前記通信モジュールの通信を制御するコントローラとを備え、

前記コントローラは、自機の位置に関する情報を取得し、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記通信モジュールに通信の省電力モード (P S M) を開始させ

、
前記コントローラは、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第 2 設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに前記 P S M を開始させる

通信装置。

【請求項 3】

自機の位置に関する情報を取得可能である、又は、自機の位置に関する情報を取得する装置に搭載可能であり、

前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、通信の省電力モード（P S M）を開始し、

P S M期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止し、
前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記 P S Mを終了する
通信モジュール。

【請求項 4】

自機の位置に関する情報を取得可能である、又は、自機の位置に関する情報を取得する装置に搭載可能であり、

前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第 2 設定時間が経過した後に、通信の省電力モード（P S M）を開始する
通信モジュール。

【請求項 5】

通信モジュールの通信を制御し、

自機の位置に関する情報を取得し、

少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させ、

P S M期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止し、
前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記 P S Mを終了する
通信方法。

【請求項 6】

通信モジュールの通信を制御し、

自機の位置に関する情報を取得し、

少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第 2 設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる

通信方法。

【請求項 7】

コントローラとして機能するプロセッサに、

通信モジュールの通信を制御させ、

自機の位置に関する情報を取得させ、

少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる制御情報を出力させ、

P S M期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止させ、
前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記 P S Mを終了させる

通信プログラム。

【請求項 8】

コントローラとして機能するプロセッサに、

通信モジュールの通信を制御させ、

自機の位置に関する情報を取得させ、

少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第 2 設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる制御情報を出力させる

通信プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本開示の一実施形態に係る通信装置は、通信モジュールと、前記通信モジュールの通信を制御するコントローラとを備える。前記コントローラは、自機の位置に関する情報を取得する。前記コントローラは、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記通信モジュールに通信の省電力モード（PSM）を開始させる。前記コントローラは、前記自機の位置に関する情報を取得し、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに前記PSMを開始させる。前記通信モジュールは、PSM期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止する。前記コントローラは、前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記PSMを終了する。

本開示の一実施形態に係る通信装置は、通信モジュールと、前記通信モジュールの通信を制御するコントローラとを備える。前記コントローラは、自機の位置に関する情報を取得する。前記コントローラは、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記通信モジュールに通信の省電力モード（PSM）を開始させる。前記コントローラは、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第2設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに前記PSMを開始させる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示の一実施形態に係る通信モジュールは、自機の位置に関する情報を取得可能である、又は、自機の位置に関する情報を取得する装置に搭載可能である。前記通信モジュールは、前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、通信の省電力モード（PSM）を開始する。前記通信モジュールは、PSM期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止する。前記通信モジュールは、前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記PSMを終了する。

本開示の一実施形態に係る通信モジュールは、自機の位置に関する情報を取得可能である、又は、自機の位置に関する情報を取得する装置に搭載可能である。前記通信モジュールは、前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第2設定時間が経過した後に、通信の省電力モード（PSM）を開始する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本開示の一実施形態に係る通信方法は、通信モジュールの通信を制御する。前記通信方法は、自機の位置に関する情報を取得する。前記通信方法は、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（PSM）を開始させる。前記通信方法において、PSM期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止する。前記通信方法において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記PSMを終了する。

本開示の一実施形態に係る通信方法は、通信モジュールの通信を制御する。前記通信方法は、自機の位置に関する情報を取得する。前記通信方法は、少なくとも前記自機の位置

に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第2設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本開示の一実施形態に係る通信プログラムは、コントローラとして機能するプロセッサに、通信モジュールの通信を制御させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、自機の位置に関する情報を取得させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、該自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる制御情報を出力させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、P S M期間において、前記自機の位置に関する情報を取得する機能を停止させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、前記自機の位置に関する情報を取得する機能とは異なる機能によって取得した情報に基づいて、前記P S Mを終了させる。

本開示の一実施形態に係る通信プログラムは、コントローラとして機能するプロセッサに、通信モジュールの通信を制御させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、自機の位置に関する情報を取得させる。前記通信プログラムは、前記プロセッサに、少なくとも前記自機の位置に関する情報に基づいて、前記自機の位置が所定範囲に入ったことを契機に、第2設定時間が経過した後に、前記通信モジュールに通信の省電力モード（P S M）を開始させる制御情報を出力させる。